

近畿農政局長賞

おむかいえいのうくみあい
農事組合法人大向営農組合（京都府南丹市）



黒大豆の栽培技術講習会



加工部の皆さん

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

大向営農組合がむらづくりを進める殿田地区は、商業地区としての存在感が大きな地区であったが、役場の移転により商店街も活気をなくした。そのような中、平成6年のほ場整備事業の完成を機に合意形成を進め、平成8年に大向営農組合を設立し集落営農を進めてきた。営農組合の設立と平行し、商業による地域づくりを行ってきた殿田地区を農業による地域づくりに転換するよう取り組みを行い、以後、農業を核として「むらづくり」を行っていくこととなる。

（２）むらづくりの内容

- ・農業の継続が困難な農家が増える中、法人化を行い加工事業や体験農園の開設など地域の活性化を図る。
- ・黒大豆栽培においては、優れた栽培技術を有しており、京都府全域の種子生産ほ場の30%を占める。
- ・体験型農園を開設し、都市部から農業体験に訪れる方に栽培指導を通じた交流を積極的に取り組む。
- ・地域住民の交流による活性化イベントに主体的に参画し、企画や運営などの中心的な役割を担っている。
- ・地元食材を使った弁当や伝統食の農産物加工が好評であり、洋菓子等の商品開発にも意欲的に取り組む。
- ・加工部では、弁当や巻き寿司等を宅配することを行っており高齢者には好評を得る。
- ・後継者となる若者を雇用しての指導や農外からの新規参入を目指す研修生の世話をを行うなど担い手の育成についても取り組む。